

経済倶楽部便り

◆東京◆ お待たせしました。ご要望の強かった東洋経済刊行物の展示販売コーナーが、講演会場のある東洋経済ビル1階に再オープンしました。最近の売れ筋はもちろん、近刊を中心に雑誌類を含めて書籍現物をお手にとつて確認できます。ご購入は内線電話で東洋経済の販売担当にご連絡いただくか、従来どおり経済倶楽部事務局にお申し付けください。ただ、社内に手持ちの書籍在庫は少ないので、郊外の倉庫から取り寄せるため、お渡しに多少時間がかかる場合があります。あらかじめお含みおきください。

7月の講演会は、星浩氏(朝日新聞特別編集委員)、熊野英生氏(第一生命経済研究所首席エコノミスト)、三品和広氏(神戸大学大学院教授)、柴田明夫氏(資源・食糧問題研究所代表)をお招きします。(塚田 紀史)

◆中部◆ 名古屋圏を指して「三男坊気質」などといわれることがあります。長男・東京、次男・大阪の後に付いて我が道を行くという感覚でしょうか。ただ、逆境に飛び出していくというやんちゃな三男というより、あまり冒険をせず、身の丈に合った生活に満足するタイプのようなのです。村上春樹氏の最新作は主人公を入れた名古屋の5人の友人関係で始まります。主人公以外の4人は大学進学レベルを落としても名古屋住まいを選択しますが、その理由は特に書いてありません。実際、名古屋圏では地元の高校、大学を出て、地元企業に就職する人が圧倒的に多い。村上氏も指摘していない理由の一つはやはりトヨタ自動車など大手製造業の就職先が地元が多いことです。その点では日本の中でも恵まれた地域だといえるかもしれません。

7月の定例講演会の講演者は独立総合研究所代表の青山繁晴氏、政治評論家の森田実氏、同志社大学大学院教授の浜矩子氏を予定しています。(日暮 良一)